

# 第29回 島根県母性衛生学会学術集会

テーマ：周産期医療危機への助産師の活用を考える

学術集会長 渋川 敏彦



会期

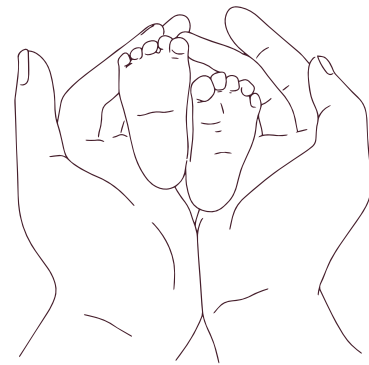
令和7年3月23日 日

10:00~16:10

会場

島根県出雲市塩冶町89-1

島根大学医学部看護学科N11教室



会費

医療・福祉・行政関係者：1000円 一般・学生：無料



## プログラム内容

### 1.開会式

(10:00~10:10)

### 2.一般演題

(10:10~11:10)

### 3.理事会

(11:15~11:45)

### 4.総会

(11:45~12:15)

### 5.シンポジウム

(12:30~16:00)

### 6.閉会式

(16:00~16:10)

### ◆シンポジウム

#### ○ 島根県における周産期医療の現状と課題

- ・ 片岡 大輔 先生（島根県健康福祉部健康推進課 課長）

#### ○ 1部【分娩の集約化(バースセンター構想)】

座長：渋川 敏彦 先生

- ・ 真鍋 敦 先生（松江赤十字病院）
- ・ 片桐 浩 先生（益田赤十字病院）
- ・ 皆本 敏子 先生（島根大学医学部附属病院）
- ・ 渋川 敏彦 先生（マザリー産婦人科医院）

#### ○ 2部【助産師外来の活用】

座長：渋川 あゆみ 先生

- ・ 岸田 由紀 先生（益田赤十字病院）
- ・ 高見 幸絵 先生（マザリー産婦人科医院）
- ・ 渡部 佐和子 先生（雲南市立病院）
- ・ 宇岬 初美 先生（大田市立病院）
- ・ 稲垣 彩 先生（島根県立中央病院）

## お問合せ

島根県母性衛生学会 事務局  
島根県立大学出雲キャンパス内



m-nagai@u-shimane.ac.jp



0853-20-0237 担当：永井